

# さとにきたら ええやん

監督・撮影：重江良樹 音楽：SHINGO★西成 プロデューサー・構成：大澤一生（「開る人」「フリーダ・カーロの遺品―石内部、語るように」） 編集：辻井潔（「開る人」「イラク チグリスに浮かぶ平和」）  
音響構成：渡辺文彦（「ルンタ」「妻の病レビー-小体型認知症」） 制作協力：神吉良輔（ふとっちょの木）、五十嵐美穂、上田昌宏、吉川諒 機材協力：ビジュアルアーツ専門学校大阪 特別協力：小谷忠典  
助成：奈良文化庁文化芸術振興費補助金 企画：ガーラフィルム 宣伝・配給協力：ウッキー・プロダクション 製作・配給：ノンデライコ 2015 | 日本 | 100分 | カラー | 16:9 | 5.1ch | DCP

日雇い労働者の街・釜ヶ崎で38年間続く子どもたちの集い場「こどもの里」  
人情が色濃く残る街の人々の奮闘を描く、涙と笑いあふれるドキュメンタリー！





# いつでもおいでや。 子どもも大人も集まるみんなの“さと”



大阪市西成区釜ヶ崎。“日雇い労働者の街”と呼ばれてきたこの地で38年にわたり取り組みを続ける「こどもの里」。“さと”と呼ばれるこの場所は、障がいの有無や国籍の違いに関わらず、0歳からおおむね20歳までの子どもが無料で利用することができます。学校帰りに遊びに来る子、一時的に宿泊する子、様々な事情から親元を離れている子…そして親や大人たちも休息できる場として、それぞれの家庭の事情に寄り添いながら、地域の貴重な集い場として在り続けてきました。本作では「こどもの里」を舞台に、時に悩み、立ち止まりながらも全力で生きる子どもたちと、彼らに全力で向き合う職員や大人たちに密着。子どもたちの繊細な心の揺れ動きを丹念に見つめ、子どもも大人も抱える「しんどさ」と、関わり向き合いながらともに立ち向かう姿を追いました。



## わたしはあなたの味方やで! 現在、求められている“居場所”の原風景



「こどもの里」の取り組みを通して、画面いっぱいにあふれ出る子どもたちや、釜ヶ崎という街の魅力を捉えたのは、大阪在住の重江良樹監督。「こどもの里」に関心を抱き、関わり、取材を始めてから足かけ7年、いま、初監督作品として本作を完成させました。音楽は地元・釜ヶ崎が生んだヒップホップアーティスト、SHINGO★西成。ストレートで飾らないメッセージの中に、街で生きる人々への熱い思いが詰まったSHINGO★西成の楽曲が、生きることそのものを力強く肯定し、映画全体をあたたく包み込みます。めまぐるしく移り変わる現代社会のなかで、子どもたちを巡る環境も急激に変化している今、あらためて注目されている「こどもの里」の“取り組み”が、これから歩む私たちに問いかけるものとは――?

### 「こどもの里」とは?

1977年設立の「子どもの広場」を前身とし1980年に現在の場所で「こどもの里」を開設。以後、子どもたちの遊び場であると共に、各家庭のケースに応じた短中期的な宿泊機能、長期的な養育をおこなう里親としての機能を持つ。

### こどもたちの 遊びと学び 生活の場です

誰でも利用できます。  
こどもたちの遊びの場です。  
お母さん お父さんの休息の場です。  
学習の場です。  
生活相談 何でも受け付けます。  
教育相談 何でもできます。  
いつでも宿泊できます。  
緊急に子どもが一人ぼっちになったら…  
親の暴力にあったら…  
家がいやになったら…  
親子で泊まる場所がなかったら…  
土・日・祝もあいてます  
利用料はいりません



### さとにきたら ええやん

監督・撮影：重江良樹 音楽：SHINGO★西成 プロデューサー・構成：大澤一生 編集：辻井潔 音響構成：渡辺丈彦  
制作協力：神吉良輔（ふとっちょの木）、五十嵐美穂、上田昌宏、吉川隼 機材協力：ビジュアルアーツ専門学校大阪  
特別協力：小谷忠典 助成：委文化庁文化芸術振興費補助金 企画：ガラフィルム 宣伝・配給協力：ウッキー・プロダクション  
製作・配給：ノンデライコ 2015/日本/100分/カラー/16:9/5.1ch/DCP

www.sato-eeyan.com

fb.com/satoeeyan777 @sato\_eeyann

上映日時  
2023年 11/18 土 13:30~ (13時開場)  
入場無料 定員100名(先着順)

会場 京都弁護士会館 地階大ホール  
〒604-0971 京都市中京区富小路通丸太町下ル  
お問合せ TEL.075-231-2378(京都弁護士会)